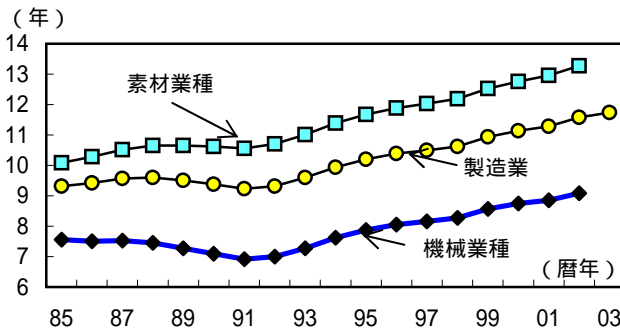




製造業設備のビンテージ

- ・設備のビンテージ（平均年齢）を算出する際に内閣府「民間企業資本ストック統計」を用いて算出するのが一般的であるが、この算出方法では2003年まで一貫してビンテージは上昇している。また、素材業種の方が機械業種に比べてビンテージが高く、上昇スピードも速い。この算出結果が実態と乖離していないかどうか検証した。
- ・日本政策投資銀行「設備投資行動等に関する意識調査」（2004年11月調査）によれば、素材業種、機械業種ともにこの1年間で「高齡化している」と回答した企業が「若返っている」とする企業を上回っており、ビンテージの上昇は続いているようだ。
- ・今後のビンテージについて、素材業種が「今後若返りを図る予定」と回答した企業が「多少高齡化してもやむを得ない」と回答した企業とほぼ同数であるのに対し、機械業種では前者が上回っている。
- ・製品サイクルが短いと考えられる機械業種で、ビンテージの頭打ち感がみられるようになっているといえる。

図1．製造業のビンテージ



(備考)

1. 経済企画庁「昭和45年国富調査」、内閣府「民間企業資本ストック」により作成。98年時点において68SNAベースと93SNAベースの統計を接続。
2. 設備の平均年齢は、昭和45年時点での平均経過年数をベンチマークとし、 $[(前期の平均年齢+1) \times (前期末の資本ストック - 今期の除却額) + 今期の設備投資額 \times 0.5] \div 今期の資本ストック$ により算出。

図2．国内主力設備の設備年齢はこの1年間で

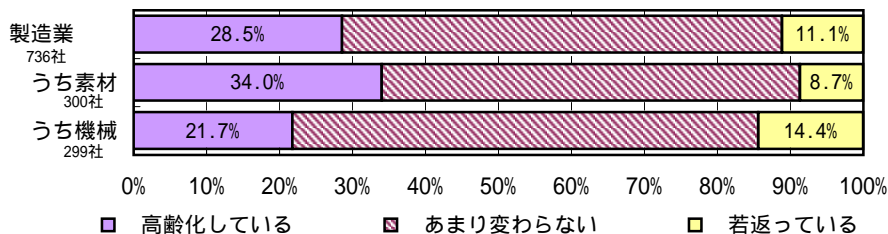
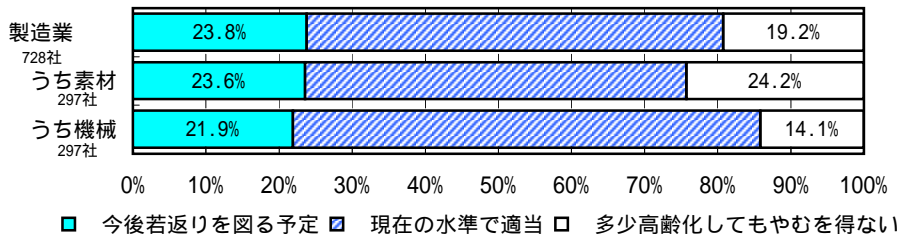


図3．投資に伴う諸コスト、投資を絞り込むデメリット等を考慮すると、国内主力設備の設備年齢は



- (備考) 1. 図2、図3は日本政策投資銀行「設備投資行動等に関する意識調査」（2004年11月調査）により作成。
2. 素材業種・・・繊維、紙・パルプ、化学、石油、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属
機械業種・・・一般機械、電気機械、精密機械、輸送用機械

【調査部(経済調査担当) 加賀林 陽介】

お問い合わせ先 日本政策投資銀行調査部

Tel: 03-3244-1840

E-mail: report@dbj.go.jp